



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daijanji.or/jdgn/index.html>

編集委員: 林(hayashi@mercury.sannet.ne.jp) 峯本 hmine 24@m3.kcn.ne.jp

“これは会員相互のコミュニケーションツールです。皆様からの情報は編集委員へ”

行事予定

「クリスマス会」

恒例のクリスマス会を下記の通り開催します。

日時: 12月8日(土) 17:00~19:00

場所: イタリア料理「ポンテロッソ」

奈良市小西町2丁目 Tel:0742-23-0808

会費: 3000円

ビンゴなど楽しいゲームが企画されています。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

申込: 添付の案内状にて出欠のご返事を12月3日まで事務局までFAX又はメールにてお願いします。

会員だより

「ドイツにおける動物保護」浅川千尋さん

今年の8月1日から40日間ドイツのマールブルク

(Marburg) 大学で短期在外研究をしてきました。今回は、「ヨーロッパ、とくにドイツにおける動物保護」をテーマにしまして、ギリシャやドイツ国内をフィールドワークもしました。その一環としてミュンヘンのTierheim(動物保護施設)を訪問してきましたので、簡単にその内容を報告させていただきます。



ミュンヘン郊外の動物保護団体のなかに、動物施設がありました。この施設では、野生動物から犬や猫、爬虫類など多くの動物が保護されていました。担当者にインタビューもできまして、約20分間質問させていただきました。また、施設を案内していただきました。ドイツでは、周知のように犬猫の「殺処分」はありません。日本での「殺処分」の現実ドイツの動物保護団体にも有名であります。しかし、ドイツでは動物保護施設が数多くあり捨て犬や猫は、基本的にここで保護されています。驚くべきことに、多くの施設では、80~90%以上の保護された犬や猫が新しい飼い主を見つけられるといいます。これは、ドイツでは犬猫の生体販売等が禁止されていますので、こういった施設で犬や猫を見つける方が非常に多いということも関係しています。日本の現状との落差を改めて痛感しました

8月中旬にドイツでも記録的な猛暑を4~5日経験しましたが、あとは比較的過ごしやすい日々でした。美味しいビールを飲んで充実した研究活動を送ることができました。また、ミュンヘンのアリーナでブンデスリーガの試合を観戦もしました。良い思い出となりました。

新入会員の紹介

坂多壽子さんと北岡静子さんが入会されました。

行事報告

1. 「ドイツのエネルギー政策」をテーマとするパネル展と講演会が、奈良県立図書情報館と共催し、ドイツ総領事館の協力、奈良市の後援を頂き開催されました。

(左上写真: 案内ポスター)

1) パネル展「変革に挑むドイツ エネルギーシフトに対する20の質問」

日時: 11月1日(水)~11月17日(土)

場所: 県立図書情報館 2F セミナールーム前



2) 講演会「ドイツの脱原発政策と再生可能エネルギー」

日時: 11月4日(日) 13時30分~15時20分

場所: 同情報館の交流ホール 参加者数: 約80名

講師: 藤澤一夫さん(当会会員)

河野会長挨拶の後、総領事館ベア・テ・フォン・デア・オステン通訳・翻訳部長から「ドイツ人の強い環境意識と再生可能エネルギーの利用促進及び脱原発政策の動き」について紹介頂いた。

藤澤さんの講演では、豊富なデータと写真を駆使して分かりやすく、ドイツの脱原発政策及び再生可能エネルギーの現状と将来への展望について、日本との比較を交えてお話し頂き大変有意義なセミナーとなった。講演の後の質疑応答の時間では、参加者から多くの熱心な質問が寄せられ、テーマに対する関心の深さが見られた。



2. 「ドイツ統一記念日レセプション」(ドイツ総領事館主催)が10月5日(金)帝国ホテル大阪で開催され、河野会長と林理事が出席されました。